

「岡山の労働革新」

公益財団法人岡山県産業振興財団
理事長 三宅 昇



昨今、岡山の有効求人倍率は1.4前後で推移していて、これは都道府県ランキングでは5位くらいに当たります。大学生や高校生の新卒就職率も90%を優に超え、近年にない高水準となっており、雇用に関しては売り手市場と言えるでしょう。

もっとも、求人の中味を見ると、相変わらず非正規雇用が多く、将来に向けての安定性という意味では心許ない点は否めませんし、企業の側から見れば、人手不足に直面しているということでもありますので、手放して喜んでばかりはいられないのが辛いところです。

ところで、岡山で働いておられる方々の総数と男女別内訳は、どのようになっているのでしょうか。

岡山県の人口193万人のうち、男性は93万人で、このうち働いている方は45万人です。子供や学生、高齢者もいらっしゃる中で、男性全体のほぼ半分が何らかの仕事を持って働いておられるということになります。

一方で、女性の県人口は100万人、このうち働いている方は35万人です。およそ3分の1ということですね。

製造業や建設業など、そもそも女性が進出しにくい業種があるのも事実ですが、この男女格差は少々大きすぎる気がします。

女性が結婚しても働くのが当たり前の北欧あたりでは、夫婦共働きが7割を超えている国もあると聞いており、これではあまりにも違いすぎますね。

国内に目を転じてみますと、他県とドンピシャリ比較できるデータを持ち合わせていないのですが、岡山県の男女合わせた雇用率（全県民のうち仕事に就いている人の割合）が40%程度なのに対し、愛知県では50%に達してい

るほか、40%台後半の県も多い状況となっており、岡山の女性の就業比率が低いことが県全体の雇用率低迷の一因ではないかと推察しています。

ちなみに、岡山で女性が男性並みに50%仕事を持つようになるとすると、100万人の女性人口のうち50万人ということになりますので、現状よりも15万人増えることになります。

岡山には、今でも潜在労働力が15万人分かっているというのは言い過ぎかもしれませんが、我が国が人口減少局面に入り、岡山でも生産年齢人口が今後どんどん減少していくことが予想されている今日、働く意欲を持つ女性が産業面でもっと活躍できる地域になれば、労働力確保の一助となることは間違いありません。

国でも、安倍政権のもと、女性が活躍する社会の実現を目指していますが、岡山の先述のデータを見るにつけ、まさにこの地域こそ女性の能力・パワーを活かす努力を他県以上にやらなければいけないと痛感しています。

現在、岡山県が策定中の岡山版地方創生戦略には、こうした認識のもと、女性の雇用率アップに向けた取組や数値目標が盛り込まれる見通しであり、誠に喜ばしい限りです。女性雇用の多い企業の誘致、女性起業家・創業者の育成など、様々な手立てを講じながら、地域を挙げた取組にしていきたいものです。

女性を単なる働き手の数として捉えるのではなく、女性ならではの感性や行動原理が、会社組織の風土を変えるきっかけとなったり、今まで気づかなかった市場ニーズを発掘することにつながり、ビジネス面での良い変革が岡山の地に生まれることを大いに期待しています。

■ 平成27年4月度ORIC交流会・セミナー

● 入居者紹介

「ロボットスーツHAL ～作業支援への展開～」 CYBERDYNE（株）

ヒトと機械を融合したサイボーグ型ロボットであるロボットスーツHALを医療・介護の分野で展開していた同社が、新たにHALを作業支援の分野でも展開していることについて同社の宮本氏より説明がありました。

高齢者の増加、労働力人口の減少に対する解決手法として、作業支援でのHALの有用性が評価されたのか、短期間に百台の販売を達成し、新工場の建設・増産となっているそうです。また、作業現場の生産性向上をデータとしてHALが示すことが導入決定の要因になる場合が多いとのことでした。

他社のロボットとは異なり、人が動こうとするときに皮膚表面に発生する電気信号（筋電）を捉えるHALの技術や医療・介護用HALとの相違点、作業支援用HALで重要な補助率の意味と腰の疲労軽減の関係についても説明がありました。

以上の説明の後、体験希望者が作業支援用HALを装着し、荷物の上げ下ろし作業での腰への負担軽減作用についての体験談がありました。マスコミにたびたび登場し認知度の高いHALですが、実物に接し動作を確認できる貴重な機会となりました。



● ORICセミナー

「知的財産一攻めと守りの勘所」

笠原特許商標事務所 弁理士 笠原 英俊 氏

4月度のセミナーでは4月22日に笠原特許商標事務所の弁理士の笠原英俊氏より、掲題のお話を頂きました。まず「知的財産」の説明から入られ、この財産を有効に生かすための「攻め」と「守り」について約2時間お話しいただきました。「自らの知的財産を他者が模倣する行為」を防止する「攻め」と、自らの行為が「他者の知的財産を模倣する行為」である、として攻撃されないための「守り」について、どのようなことが大切か、どんな落とし穴があるのか、などを実例を踏まえて説明して頂きました。「権利成立後」であっても無効理由の成立により過去にさかのぼっての「権利消滅」、商標は10年ごとに更新しなければ自動的に登録抹消、商標を3年以上権利範囲で不使用と認められると権利取り消し、専門性の高い人ほど出願可能性を認識しにくい、特許出願完了まで秘密管理を厳重に、権利効力の最も大きいカテゴリーは「物」の特許、特許出願からあとの期限管理は重要（うっかり忘れると権利消滅）、他者特許に対して匿名での情報提供による自社技術の守りの重要性、商号登記により商標は保護されない、など多数の気を付けなければならない点の説明も含めて、知的財産管理・取扱いの全体的勘所を説明して頂きました。新技術、新サービスの付加価値を最大限に享受するためにも、「知的財産の攻めと守りの勘所」を常に押さえておくことが大切なのでしよう。とても役に立つセミナーでした。



■ 平成27年5月度ORIC交流会

●バーベキュー交流会



5月20日、ORIC中庭で恒例のバーベキュー交流会が開催されました。今回は入居企業の含気調理食品(株)様から、同社の製品である保存料無添加の「五目野菜サラダ」(野菜をやや甘めに調理した常温食)の提供もあり、いつもまして机の上が賑やかになりました。交流会は、この4月に岡山県工業技術センターの所長として着任されました鈴木隆之氏の乾杯のご発声で午後5時15分に予定通り始まりました。開始時は好天に恵まれ、53名の参加者がおいしい肉や健康的な野菜に舌鼓を打って、交流を深めておられました。

仲間を誘っての参加や、ご家族を同伴されての参加など多彩な雰囲気での楽しい会になりました。

用意した肉などの食材が順調に消化されたところで、急に天気も怪しくなりましたので、予定の時間前ではありましたが、岡山県産業労働部産業振興課副参事の小田敬三氏の中締めでお開きに致しました。

終了後は多くの参加者の方々の積極的なご協力により、極めてスムーズに後片づけを行うことが出来ました。スタッフ一同感謝しております。

■ 平成27年6月度ORIC交流会

●入居者紹介

「拡大するインターネット動画広告とその活用について」(株)きびだんご



動画は、ネットの中で大きなウエートを占めるようになってきましたが、インターネット動画広告の制作をビジネスにしている、(株)きびだんごの長谷川社長にお話を伺いました。

同社は平成25年の設立で、「コンサルティング動画制作事業」を一つの柱としています。同社の言う「コンサルティング動画」とは、動画を広告の手段として、その活用を考え、顧客に提供することを主眼とした動画制作であるとのこと。

企業が使う広告費の媒体別シェアとしては、まだまだテレビが圧倒的に大きいですが、テレビ、新聞、雑誌などの従来型広告費が、伸び悩んでいるか減少している中で、唯一増加しているのがインターネット広告です。その伸びは、2013年から2017年までで、約5倍になるとの調査結果を示していただきました。この伸びは、スマホの普及が大きく関わっているとのことでした。

動画の力としては、①見た人の印象に残りやすい、②イメージアップの効果が高い(例えば、内容だけでなく、提供側の「熱気」も伝えやすいこと)、③費用が安い(制作費がテレビ広告などより安いことや、YouTubeなど媒体に無料でアップロードできること)などが挙げられます。

さらに、広告として見た場合に、その動画を見ている人は、検索の結果として目的を持って見ているケースが多く、広告が対象とする人に届く「ターゲティング効果」が高いことも注目されます。また、

動画をホームページに組み込むことで、検索結果のリスト上位に表示される、SEO対策の効果も高いとのことでした。

今後の動画の活用事例としては、広告の他に、営業ツール、お客様の声、マニュアル、E-ラーニング、展示会など、様々な分野に広がっていくとのこと、同社の事業も今後の伸びが期待できそうです。

新入居者紹介

平成27年3月に開催された第47回入居審査会により下記3者の入居が決まりました。

入居企業名	事業概要	所在地	分野
インフォデザイン	・ ネット販売の運営支援	愛媛県	IT
(株)きびだんご	・ 主としてWEBサイト掲示用動画作成支援	岡山市	IT
(株)ジュネスラボ	・ 照明調光技術特許を生かした再生可能エネルギー電力のデジタル化事業	岡山市	ものづくり

ORICの支援プログラム

ORICの主な支援プログラムをご紹介します。

■入居者のネットワーク形成支援

- ・ ORIC交流会
毎月1回入居企業、外部企業や支援機関の事業紹介を行い、参加者同士の交流が可能な場を提供しています。

■経営セミナー

- ・ 毎月の交流会にあわせ、ビジネスに係る話題性のあるテーマでセミナーを実施しています。

■販路支援

- ・ 展示会・イベントの案内、出展支援を行います。
- ・ 広告・宣伝：新聞、雑誌等への掲載支援、機関紙「飛翔」、HPで紹介します。
- ・ 各種販路支援制度の紹介、支援を行います。
- ・ 割安な東京タワー直下のビジネス拠点 (T-BISC) を紹介します。

■資金調達と資本政策

- ・ 融資制度及び各種機関の紹介をします。
- ・ 補助金・助成金制度の紹介と申請書作成支援を行います。

■専門家相談

- ・ ORIC顧問専門家（弁護士、弁理士、税理士、社会保険 労務士、技術コンサルタントなど）を安価に利用できます。
(1,000円/時間)
- ・ その他、各種専門家を紹介します。
- ・ 会社経営の経験者を「メンター」として紹介します。

■大学の知財活用

- ・ 技術開発の共同研究など大学の知財活用の紹介を行います。

■施設利用

- ・ 岡山県工業技術センターの利用料金が半額になる制度があります。(但し入居後3年間)
- ・ 駐車場は無料です。
- ・ 会議室、交流サロン、シャワーなど無料で使用できます。

■創業準備室

- ・ 起業を希望する個人・グループを対象としてビジネスモデルのブラッシュアップ、会社設立の支援を行います。

含気調理食品株式会社

代表者 代表取締役 小野真美

連絡先 〒701-1221 岡山市北区芳賀5303 ORIC 320号室

TEL 086-233-2646 FAX 0867-22-9556

E-MAIL mami.o@tgcgankifoods.jp URL http://tgcgankifoods.jp

- 【事業内容】**
- 1) 食品製造設備の開発・製造及び販売
 - 2) 常温加工食品の開発・製造及び販売
 - 3) コンサルティング業務
 - (1) 常温加工食品の商品化支援業務
 - (2) 小ロットのOEM食品製造受託業務

弊社の事業内容を最近の事例で御説明します。

A) 食品製造設備（調理殺菌機）の開発事例

＜東南アジアの大手の食品メーカーからの依頼内容＞

* 連包製品の殺菌は、温度ムラが激しい為、下図（1）のように殺菌物の間隔を空け、少量で殺菌している。

図1



図2



* 開発結果

図2の装置で、客先の要望通り、温度ムラを1℃以内（0.7℃以内）にできました。（図3）

図3

TEST No.	温度誤差 (Note.1) ℃	F 値					
		F4付近のF値			最終F値		
		最低F値	最高F値	誤差	最低F値	最高F値	誤差
TEST No.1 (A-B)	0.3	POS5 3.96	POS2 4.08	0.12	POS6 6.95	POS3 7.09	0.14
TEST No.2 (A-C)	0.5	POS5 4.06	POS4 4.22	0.16	POS1 6.93	POS4 7.06	0.13
TEST No.3 (A-D)	0.6	POS5 3.75	POS3 4.09	0.34	POS5 7.00	POS3 7.28	0.28
TEST No.4 (A-D)Note.2	0.7	POS4 3.97	POS2 4.13	0.16	POS3 6.13	POS2 6.3	0.17

B) 食品の開発、小ロットのOEM食品製造

＜岡山県の県北で、シイタケを栽培している生産者からの依頼内容＞

* 現在、主にシイタケを栽培し、生鮮として出荷し、規格外は、乾燥するか廃棄している。生産地域は、過疎化し、事業の後継者も少ない。次世代に対し、夢のある農業を残したい。その一環として、常備食としても使える常温食品の加工を依頼したい。

* 開発結果



＜奥津どんこ椎茸含め煮＞

現在、県北の道の駅、温泉旅館で、お土産として、販売され、シイタケの食感、味は、好評です。

今回は、数量が少ない為、次回10月の収穫では、再度生産を行い、岡山駅前のスーパーでも販売する予定です。

又、商品の種類も増やす予定です。

現在、岡山県内、関西方面から小規模の農業者様又レストラン経営者様から多くの小ロットのOEMの製造依頼を受注しております。今後、産、学、官の連携を通じ、少しでも地域の活性化に繋がれば、と思っております。

最後になりましたが、ORICや岡山県産業振興財団のスタッフ様のご指導とご協力に感謝し、厚く御礼を申し上げます。

■ 平成27年度 岡山リサーチパーク 一般公開「おもしろ体験でえ〜」

岡山県工業技術センター、(公財)岡山県産業振興財団、岡山大学産学官融合センター、岡山リサーチパークインキュベーションセンター、(一社)岡山県発明協会、(一社)システムエンジニアリング岡山、岡山県産業労働部産業振興課、が企画主催して、毎年夏休みに岡山リサーチパーク内にあるテクノサポート岡山と岡山県工業技術センターで開催されます。

本企画は青少年への科学技術の啓発と県民への岡山リサーチパークの紹介をその趣旨としており、

- i) 小中学生などの子供たちに、新技術の素晴らしさをアピールし、科学技術の重要性を認識してもらう、
- ii) 広く県民に岡山リサーチパークの存在をアピールし周知を図る、
- iii) 参加者が体験し、発見し、感動する場を作る、を目的としております。

今年は「もんげー科学の不思議な世界」をキャッチフレーズに掲げ次の要領で実施いたします。是非ふるってご参加いただき夏休みの良い思い出の一つにしてください。

なお今回はORICからも「パーソナル3Dプリンタを体感してみよう!!!」を出展しますのでご期待ください。

- ◆ 日時：平成27年7月24日(金)、25日(土) 10:00～16:00
- ◆ 場所：テクノサポート岡山／岡山県工業技術センター
(岡山市北区芳賀5301 岡山リサーチパーク内)

■ 「第11回しんきん合同ビジネス交流会」

県内信用金庫、(株)日本政策金融公庫岡山支店、(公財)岡山県産業振興財団、(独)中小企業基盤整備機構中国本部、信金中央金庫岡山支店、が合同で、『岡山の元気がここに集合!』をキャッチフレーズにして開催するものです。

企業同士による“商談”、相談機関などとの“相談”を通じて、参加企業の「事業価値の向上」に寄与し、地元岡山の経済活性化の一助となることを目的にしています。

毎回およそ400社の参加がある当交流会は、新たな取引先・ビジネスパートナーを探しているベンチャー企業や創業者の方々にとって絶好の商談会です。是非ご参加ください。

- ◆ 日時：平成27年9月9日(水) 10:00～15:55
- ◆ 場所：コンベックス岡山 大・中・小展示場(岡山市北区大内田675)
- ◆ “商談”について
 - (1) 個別商談会(10:30～12:00)：参加企業間で商談相手を事前に組み合わせをし事前予約による強制お見合い方式を3回実施。
 - (2) フリー商談会(13:00～15:55)：出展企業に加えて事前に参加申し込みをした入場者の自由な商談会。
- ◆ “相談”について

参加企業の種々の問題点を解決する為、目的別相談コーナーを設置予定。
産学連携コーナー、創業相談コーナー、公的支援団体コーナー、
人材に関するコーナー、民間支援団体に関するコーナー、
海外進出相談コーナー、バイヤー企業との商談コーナー 等

入居者募集中!!



研究室大



研究室小

センターでは随時入居のご相談に応じています。
お気軽にお問い合わせください。

Tel 086-286-9116

■ 施設使用料・空き室状況

(2015年7月現在)

施設区分	面積	使用料の月額	減額後の使用料※	部屋数	空き室数
研究室小	約 25 m ²	46,280 円	23,140 円	22	10
研究室大	約 50 m ²	90,510 円	45,255 円	30	13
試作開発室	約 100 m ²	180,000 円	90,000 円	6	3
創業準備室	5 m ² /ブース	5,000 円		6ブース	6ブース

※創業5年未満の企業及び個人は、入居後3年間は減額になる制度があります。

■ 次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。
次回は8月末までに事業計画書を提出された方を対象に、9月中に開催の予定です。
(創業準備室の募集は随時受付けています。)
詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>

